

JALPS 生態系リモートセンシングの取り組み

加藤正人（信州大学農学部）

要旨

生態系グループでは温暖化実験に関する場所として、アルプス全域、重点調査地区として中央アルプス西駒演習林内に気象観測を含めたサイトを設定し、観測を開始した。三大学の共同研究を進める共通基盤情報として、対象地の人工衛星と航空機によるリモートセンシングデータの購入し、地図利用可能な投影変化を行った（図-1, 2）。また、信州大学で管理している演習林の森林資源データを含む地図情報（図-3）、登山ルートや山小屋などのGPS測定も行い、JALPS共同研究の基盤情報として登録する（図-4）。

平成24年度は、リモートセンシングと地上植生調査との連携を行うため、重点調査地区での高山植生調査や温暖化実験との同時期の航空機観測の要望（別予算）、現地植生情報とリモセンデータとの相関とモデル化、内挿法による人工衛星観測への広域展開を行うことで、アルプス全域での生態系温暖化実験の検証を目指す。

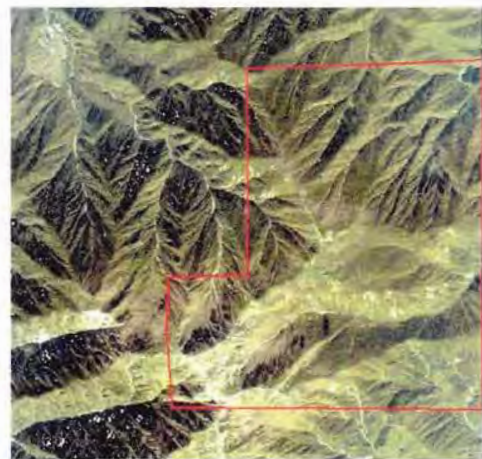


図-1 北アルプスから上高地（利用制限あり） 図-2 西駒演習林衛星データ（共通）

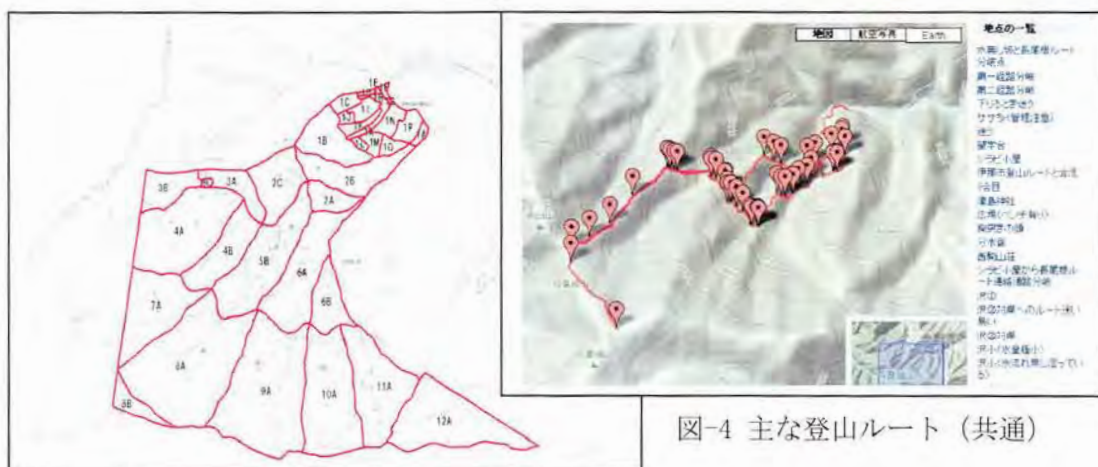


図-3 西駒演習林地図情報（共通）

図-4 主な登山ルート（共通）